



## 2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月5日

上場会社名 ユニフォームネクスト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3566 URL https://uniformnext.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横井 康孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 吉川 貴之 TEL 0776 (43) 1034  
 定時株主総会開催予定日 2021年3月25日 配当支払開始予定日 2021年3月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期の業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	4,968	5.4	322	△10.9	338	△6.8	223	△7.3
2019年12月期	4,714	17.0	361	5.4	363	6.1	241	△1.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	90.06	89.43	10.4	10.7	6.5
2019年12月期	97.87	96.64	12.5	11.9	7.7

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期 -百万円 2019年12月期 -百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	3,221	2,244	69.7	902.55
2019年12月期	3,140	2,041	65.0	822.12

(参考) 自己資本 2020年12月期 2,244百万円 2019年12月期 2,041百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	276	33	△129	1,590
2019年12月期	335	△95	△120	1,411

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	-	0.00	-	10.00	10.00	24	10.2	1.3
2020年12月期	-	0.00	-	10.00	10.00	24	11.1	1.2
2021年12月期(予想)	-	0.00	-	10.00	10.00		8.9	

### 3. 2021年12月期の業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,076	22.3	424	31.7	424	25.1	279	24.6	112.18

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	2,487,162株	2019年12月期	2,483,162株
② 期末自己株式数	2020年12月期	112株	2019年12月期	66株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	2,485,296株	2019年12月期	2,467,715株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2021年2月10日（水）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(追加情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、企業収益の大幅な減少、個人消費の停滞、雇用情勢の悪化など、景気が急速に悪化し経済活動は停滞しております。緊急事態制限の解除後、一時的に回復の兆しも見られたものの、第3波の感染拡大により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

係る状況のもと、当社は、売れ筋商品に注力した在庫拡充を積極的に行うとともに、カタログ配布やWEB広告による広告施策は感染状況の拡大に合わせ配布時期や露出量の調整を行い、効率的な通販集客に努めました。

また、訪問販売においても、ユニフォーム納品を通じた顧客企業業績の改善をテーマとし、顧客の潜在的ニーズの発見と充足に重点を置き提案内容の深化に取り組んでまいりました。

2020年2月末には新受発注システムをリリースし、顧客のECサイト購入時の利便性向上、受注スタッフの処理効率化等の効果がありました。

販売状況に関して、サービス部門においては、新型コロナウイルス感染拡大によるイベント中止、飲食店の営業時短や自粛の影響を受け、売上が伸び悩んだ結果、売上高は2,088,096千円（前期比4.8%減）となりました。

オフィスワーク部門においては、新型コロナウイルス感染症による影響は少なく、昨年を引き続き、在庫を拡充した空調服が夏季を中心に売上の伸びに寄与いたしました。下期においては、防寒服の販売期である11月、12月前半頃まで暖かい気候が続いた結果、売上が伸び悩みました。結果、同部門の売上高は2,620,854千円（同19.1%増）となりました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高4,968,447千円（前期比5.4%増）、営業利益322,008千円（同10.9%減）、経常利益338,998千円（同6.8%減）、当期純利益223,832千円（同7.3%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における資産合計は、前事業年度末に比べ80,668千円増加し、3,221,624千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ210,627千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が179,425千円、売掛金が31,051千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ129,959千円減少いたしました。これは主に、固定資産の圧縮による有形固定資産の減少70,700千円、減価償却等による有形固定資産の減少40,747千円によるものであります。

#### (負債)

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末に比べ122,639千円減少し、976,925千円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ13,626千円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が25,878千円、買掛金が29,598千円増加し、未払法人税等が9,526千円、未払消費税等が58,572千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ109,013千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が104,952千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は、前事業年度末に比べ203,307千円増加し、2,244,699千円となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株の発行による資本金の増加2,180千円、資本剰余金の増加2,180千円、当期純利益223,832千円及び剰余金の配当24,830千円によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、1,590,592千円となり、前事業年度末に比べ、179,425千円増加いたしました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、276,227千円(前年同期比17.6%減)となりました。これは主に、税引前当期純利益341,066千円、減価償却費が72,991千円、売上債権の増加30,550千円、仕入債務の増加55,477千円、法人税等の支払額124,863千円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、33,033千円(前年同期は95,463千円の使用)となりました。これは主に、補助金の受取額70,700千円、有形固定資産の取得による支出4,708千円、無形固定資産の取得による支出37,162千円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、129,836千円(同7.9%増)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出104,952千円と配当金の支払額24,830千円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束の目処が立っていない国内においては、本格的な回復には時間を要するものと考えられます。世界経済においても、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動への影響に加え、米中関係の悪化など先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような環境の中、当社においては、翌期も新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて、飲食店カテゴリを中心に今期と同程度の影響を受けることが予想されます。対して、今期リリースされた新受発注システムを社内エンジニア中心に迅速に改修を行うことで、引き続き受発注の効率化とユーザーの利便性向上に努める一方、自社オリジナルカタログ発行数の増加、WEB広告の効率向上、SNS展開等の積極的な広告施策により新規顧客獲得に取り組んでまいります。

以上の結果、翌事業年度(2021年12月期)の業績見通しにつきましては、売上高6,076百万円(前年同期比22.3%増)、営業利益424百万円(同31.7%増)、経常利益424百万円(同25.1%増)、当期純利益279百万円(同24.6%増)を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当事業年度 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,411,166	1,590,592
受取手形	209	600
電子記録債権	1,768	876
売掛金	136,530	167,581
商品	299,805	306,367
貯蔵品	843	1,527
前払費用	3,716	5,016
その他	8,344	402
貸倒引当金	△55	△6
流動資産合計	1,862,329	2,072,956
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	815,152	718,644
構築物(純額)	43,674	39,495
機械及び装置(純額)	19,150	16,896
車両運搬具(純額)	1,174	1,458
工具、器具及び備品(純額)	12,131	8,049
土地	216,779	216,779
有形固定資産合計	1,108,062	1,001,323
無形固定資産		
ソフトウェア	12,526	104,366
その他	114,500	1,118
無形固定資産合計	127,027	105,485
投資その他の資産		
出資金	30	30
長期前払費用	3,312	4,236
繰延税金資産	24,575	23,888
その他	15,618	13,704
投資その他の資産合計	43,537	41,859
固定資産合計	1,278,627	1,148,667
資産合計	3,140,956	3,221,624

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当事業年度 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	229,557	255,436
買掛金	148,517	178,116
1年内返済予定の長期借入金	104,952	104,952
未払金	156,208	149,836
未払費用	5,532	5,647
未払法人税等	75,788	66,262
未払消費税等	82,883	24,311
前受金	11,406	13,746
預り金	1,297	1,397
賞与引当金	36,500	37,000
その他	1,000	3,312
流動負債合計	853,643	840,016
固定負債		
長期借入金	228,448	123,496
ポイント引当金	13,581	13,413
長期未払金	3,893	-
固定負債合計	245,922	136,909
負債合計	1,099,565	976,925
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	346,719	348,899
資本剰余金		
資本準備金	316,719	318,899
その他資本剰余金	34,268	34,268
資本剰余金合計	350,988	353,168
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,343,839	1,542,840
利益剰余金合計	1,343,839	1,542,840
自己株式	△156	△210
株主資本合計	2,041,391	2,244,699
純資産合計	2,041,391	2,244,699
負債純資産合計	3,140,956	3,221,624

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,714,798	4,968,447
売上原価		
商品期首たな卸高	238,018	299,805
当期商品仕入高	2,883,149	2,985,868
当期商品加工原価	109,477	121,492
合計	3,230,644	3,407,165
商品期末たな卸高	299,805	306,367
商品売上原価	2,930,839	3,100,798
売上総利益	1,783,959	1,867,649
販売費及び一般管理費	1,422,670	1,545,640
営業利益	361,288	322,008
営業外収益		
受取利息	1	0
受取補償金	—	8,400
助成金収入	—	4,696
保険解約返戻金	—	2,289
受取講演料	1,001	300
祝金受取額	1,420	—
還付加算金	429	—
その他	1,370	2,286
営業外収益合計	4,224	17,973
営業外費用		
支払利息	1,344	984
その他	309	—
営業外費用合計	1,653	984
経常利益	363,859	338,998
特別利益		
補助金収入	—	70,700
固定資産売却益	5,223	—
特別利益合計	5,223	70,700
特別損失		
固定資産圧縮損	—	68,632
特別損失合計	—	68,632
税引前当期純利益	369,083	341,066
法人税、住民税及び事業税	123,396	116,547
法人税等調整額	4,160	687
法人税等合計	127,556	117,234
当期純利益	241,526	223,832

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	342,079	312,079	34,268	346,348	1,126,912	1,126,912
当期変動額						
新株の発行 (新株予約権の行使)	4,640	4,640		4,640		
剰余金の配当					△24,598	△24,598
当期純利益					241,526	241,526
当期変動額合計	4,640	4,640	—	4,640	216,927	216,927
当期末残高	346,719	316,719	34,268	350,988	1,343,839	1,343,839

	株主資本		純資産 合計
	自己株式	株主資本 合計	
当期首残高	△156	1,815,183	1,815,183
当期変動額			
新株の発行 (新株予約権の行使)		9,280	9,280
剰余金の配当		△24,598	△24,598
当期純利益		241,526	241,526
当期変動額合計	—	226,207	226,207
当期末残高	△156	2,041,391	2,041,391

当事業年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	346,719	316,719	34,268	350,988	1,343,839	1,343,839
当期変動額						
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)	2,180	2,180		2,180		
自己株式の取得						
剰余金の配当					△24,830	△24,830
当期純利益					223,832	223,832
当期変動額合計	2,180	2,180	—	2,180	199,001	199,001
当期末残高	348,899	318,899	34,268	353,168	1,542,840	1,542,840

	株主資本		純資産 合計
	自己株式	株主資本 合計	
当期首残高	△156	2,041,391	2,041,391
当期変動額			
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)		4,360	4,360
自己株式の取得	△53	△53	△53
剰余金の配当		△24,830	△24,830
当期純利益		223,832	223,832
当期変動額合計	△53	203,307	203,307
当期末残高	△210	2,244,699	2,244,699

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	369,083	341,066
減価償却費	54,057	72,991
固定資産圧縮損	—	68,632
補助金収入	—	△70,700
助成金収入	—	△4,696
受取補償金	—	△8,400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△48
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,400	500
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,402	△168
受取利息及び受取配当金	△2	△1
支払利息	1,344	984
有形固定資産売却損益(△は益)	△5,223	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,404	△30,550
たな卸資産の増減額(△は増加)	△62,144	△7,245
仕入債務の増減額(△は減少)	△35,694	55,477
未収消費税等の増減額(△は増加)	56,745	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	77,349	△58,572
その他	△15,075	29,709
小計	447,645	388,977
利息及び配当金の受取額	2	1
利息の支払額	△1,344	△984
助成金の受取額	—	4,696
補償金の受取額	—	8,400
法人税等の支払額	△110,921	△124,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	335,382	276,227
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△61,124	△4,708
有形固定資産の売却による収入	51,618	—
無形固定資産の取得による支出	△85,197	△37,162
補助金の受取額	—	70,700
その他	△760	4,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,463	33,033
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△104,952	△104,952
株式の発行による収入	9,280	—
自己株式の取得による支出	—	△53
配当金の支払額	△24,598	△24,830
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,270	△129,836
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	119,647	179,425
現金及び現金同等物の期首残高	1,291,519	1,411,166
現金及び現金同等物の期末残高	1,411,166	1,590,592

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社はユニフォーム販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社の事業活動への影響は、現時点におきましては、限定的な範囲にとどまっております。しかし、新型コロナウイルス感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、当事業年度末時点で入手可能な外部の情報等を踏まえて、今後、2021年12月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	822.12円	902.55円
1株当たり当期純利益	97.87円	90.06円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	96.64円	89.43円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益金額(千円)	241,526	223,832
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	241,526	223,832
普通株式の期中平均株式数(株)	2,467,715	2,485,296
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	31,580	17,593
(うち新株予約権(株))	(31,580)	(17,593)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。